

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	観光名所（職員）	・先行予約が前年同月に比べて良い。 ・3月からの営業時間延長の取組や、市役所が移転してきた効果による来店客数増を見込んでいる。	
		百貨店（営業企画）	・当店の近くに居酒屋が開店、営業を始めたため、客足が増加する傾向になる。	
		コンビニ（経営者）	・テレビ等で景気の良い話が少し流れているが、現場では、そういう話はあまりしていない。ただし、これから少し上向きになっていく感があり、期待している。	
		衣料品専門店（経営者）	・来月のゴールデンウィークや様々な景気対策、アベノミクスが徐々に効果を上げて観光客の増加や商店街にも人が増えていくとみる。周辺の都市開発なども動いていくので少しずつ良くなっていく。	
		その他の専門店〔楽器〕（経営者）	・2、3か月先の予約状況は前年に比べて好調に推移している。特に観光客の予約が好調で、前年比110%となっている。旅行会社によると、円安等の影響で海外から国内に旅行がシフトしているようだとの話があった。	
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・季節的要因ではあるが、住宅メーカー等各社で、ゴールデンウィークの商談設定のため、イベントの開催があり、今月より集客増が見込め、それに伴い受注機会も増えたと見込む。また、消費税増税前の駆け込みも予想でき、消費税現行税率での支払となる9月末の契約を意識した商談で、受注数が増えてくると予測する。	
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・建築相談が増えていることもあり当面は安定して建築受注が見込める。ただし、建築現場での職人不足や建築資材の値上がり感が懸念される。	
	変わらない		住宅販売会社（代表取締役）	・弊社としては為替による原材料やエネルギーの価格高騰が心配である。ただし、全体的には景気上昇傾向にみえるので、観光客が増えると推測する。そのため、景況感に関しては変わらないとみる。
			一般小売店〔菓子〕	・周辺の競合開店等の影響は無く、今後3か月は前年並みで推移する見込みである。
			スーパー（企画担当）	・円安や株高などの好景気となるような報道はあるが、実際にそれを実感することは無い。身近では消費税増税の懸念が大きく感じられる。これでは財布のひもが緩むことは無いとみている。
スーパー（販売企画担当）			・来客数増の要因が見当たらない。	
コンビニ（経営者）			・競合等の出店で商圏は縮小するので、個店ごとの浮き沈みはあるが、客単価や購買意欲が落ち着いているため、しばらくはこの傾向が続くとみる。	
コンビニ（エリア担当）			・観光、建築は安定しており、先行きもこれまで同様明るい判断する。	
コンビニ（エリア担当）			・良くなるか悪くなるか読めない。	
衣料品専門店（経営者）			・ここ3か月の推移をみる限り、悪くなることはあっても、良くなるとは感じられない。	
その他専門店〔書籍〕（店長）			・来客数、販売量共に前年並みで、上向きになる要素も無いので、この状態が続くのではないかとみている。	
通信会社（店長）			・先行き不透明ではあるが、引き続き料金単価の上昇を図っていきたい。	
やや悪くなる		ゴルフ場（経営者）	・沖縄は米軍基地移設の政治的な大きな問題を抱えており、消費行動にも影響があり、あまりお金を使わないように見受けられる。	
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・現段階の予約受注状況から推測できる稼働率が、前年同月実績に比べ、同様もしくは若干下回る見込みである。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・観光関連の客は多少は戻りつつあるが、購買力が落ちている感がある。意外と客の財布のひもが固く、商品等を見ても、買い控えしている。その他に関しても消費低迷が現在続いている。まだまだ厳しい状態は続く。	
悪くなる		商店街（代表者）	・観光関連の客は多少は戻りつつあるが、購買力が落ちている感がある。意外と客の財布のひもが固く、商品等を見ても、買い控えしている。その他に関しても消費低迷が現在続いている。まだまだ厳しい状態は続く。	
		建設業（経営者）	・真剣な引き合い件数が増加している。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・取引先からの受注状況がやや上向きになると予想している。	
		輸送業（代表者）	・石垣で、需要家同士の生コンの乱売が終息する見込みである。東日本震災復興の本格化やアベノミクスで、市場全体にタイト感がある。	
		通信業（営業担当）	・今後とも案件は十分にあるとみている。課題は案件を受注するための要員を確保することである。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	会計事務所（所長）	・新政権の経済政策への期待感が大きい。しばらくは、国民の多くが、景気が良くなるという感覚でいる。	

	変わらない	食料品製造業（総務）	・雇用の改善や賃金の上昇が、地方ではまだまだ実感できないのではないか。また、円安による原材料の値上がりも予想されるため不安である。
		輸送業（本社事業本部）	・景気を引き上げる大きな要素はみえない。燃料費の高騰は継続的に行われているため、景気自体の変化はみられないが、経費増加により悪くなる可能性もある。
		広告代理店（営業担当）	・国内景気が上昇傾向にあるなかで、県内においても期待感はあるものの、具体的な実感としては感じられず、先行きは不透明である。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（総務担当）	・ここにきて、企業の景況判断も「上昇」見込みが多いせい、1社で複数名の求人を依頼する企業が増えてきており、景気への期待が持てる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・有効求人倍率が増加している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・ここ1年「良い」状態が続き、今のところ悪くなる要素は見当たらず、かと言って良くなるかについては、もう少し様子見が必要だとみている。
	やや悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・政治の影響が迅速に反映され、社会全体が政治家の動向に振り回されて落ち着かない感がある。大波小波とうねりが激しく、不安定さが否めない。良い気配が感じられない。
	悪くなる	-	-